



## やりぬく ちから を そだてたい！

### 1 やりぬく力とは！



「やりぬく力」は「情熱」と「粘り強さ」のふたつの要素でできています。偉大な功績をあげた人物を調査してみると、「やりぬく力」を身につけているという研究結果が示されています。「情熱」とは「ひとつのことにじっくり長いあいだ取り組む姿勢」を意味します。また、「粘り強さ」とは「目標を決めたら、守り抜き、障害にぶつかっても、あきらめずに取り組む姿勢」を意味します。このことを「動機の持続性」と名付けられています。児童の学力、体力及び規範意識の向上(目標の達成)に、「動機の持続性」が大いに関係しています。

では、「やりぬく力」の育成には、何が必要なのでしょう。それは「努力」という行為です。それも「努力」は「二重」に影響します。駅伝クラブでの練習を例に説明すると、長距離を走るために必要な能力(呼吸方法、走り方、体幹及び筋力等)を「意欲をもってかつ粘り強く」反復練習し自ら鍛えることが一つ目の「努力」です。

ふたつ目の努力は「ひとつ目の努力で身につけたスキル」を練習によって成果(自己タイムの更新)とつなげていく「努力」です。これを図に表すと以下ようになります。



### 2 6年生が、おてほんとなつて！

これまでも6年生はあいさつ運動や幼小中合同体育大会、ぽかぽか集会等の様々な活動を通して、やりぬく力を下級生とともに、育んできました。

やりぬく力を身につけることにより児童一人一人が大きな成果を獲得できるようになります。

本年度、本校の児童が市の代表選手として、県駅伝大会に出場します。

